



大 建 第 178 号
平成19年 5月 7日

国土交通省道路局長 殿

奈良県吉野郡大淀町

大淀町長 森 下 征 夫



中長期的な計画の作成にあたってのご意見の提出について

平成19年4月2日付け、国道企第114号で依頼のありました標記のことについて、別紙の通り意見を提出します。

平成19年 5月 7日
奈良県大淀町

中期的な計画の作成に対する意見

——— 今後の道路政策や道路の整備・管理について ———

- ・重点化を進める上で特に優先度の高い政策
- ・効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと
- ・その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

○ 大淀町の概要

大淀町は、奈良県の中央部に位置し、大台ヶ原に源を発する母なる川、吉野川の北岸沿いにあり、熊野・伊勢、そして世界遺産「大峰山」へと通じる交通の要衝です。また、吉野の玄関口として、「ひともまちも輝く大淀町」～安全で住みよい活力あるまちをめざしている面積38.06平方キロ、人口約2万人の町です。特産としては、100年ほど前から梨の栽培が行われ、鳥取県、千葉県の松戸市と並ぶ三大名産地となっています。また、温暖な風土であることからお茶の栽培が古くから行われ、全国的に知られています。

○ 道路の整備・管理状況

道路は地域住民の生活や交流、産業の振興、物流そしてレクリエーション等に重要な役割を果たしています。一定の道路網が整備されてきたことで、地域の発展、利便性の向上、過疎化の阻止等、地域社会に計り知れない利益をもたらしてきたと考えられます。

しかしながら、奈良県の道路の整備率は、全国で43番目と低く、歩道整備に至ってはさらに低い状況であります。

本町周辺の道路整備としても、長年に渡り整備促進を要望してきました、京奈和自動車道は徐々に整備され、ようやく一部供用開始がなされた状況であります。また、頻繁に渋滞が生じる国道169号線高取地区のバイパス整備についても、早期整備に期待を寄せているところです。

本町の道路政策としては、安心、安全なまちづくりとして、特定安全施設整備事業を活用し、歩道整備等を進めていますが、交付税等の減少により財政的に非常に厳しい状況となり、当初の整備計画を進めることが困難となっています。また、山間部を通過する道路は狭隘な箇所や急カーブ

も多く、山は急斜面で常に崩落の危険性があります。近隣で最近、大規模な土砂崩れが発生し乗用車1台が巻き込まれ3人の尊い命が犠牲になりました。近年、東南海地震の発生が予知されている状況下で、このような危険個所が多く残っていて、次の犠牲者が出ないとは限りません。

このような地域は他に迂回する道路もなく、通勤通学や病院等に通うにも大きく迂回をしなければならず、生活道路として利用している住民にとっては死活問題でもあり、不安を与えたとともに他の流通機能にも影響を及ぼし経済的にも大きな損失を招きました。

○ 今後の取り組み

本町ではこの程、第3次大淀町総合計画（基本計画）を策定し、少子高齢化対策、過疎化対策とともに、都市部への通勤も可能な若者が安心して定住できるまち、地域の活性化や新たな雇用を生む企業誘致政策を掲げて、『ひとまちも輝く大淀町』安全で住み良い活力あるまちづくりをめざして取り組んでいます。

実現化に向けて交通ネットワークの形成、特に道路交通体系の整備が必要と考えています。そのため下記のとおり意見を述べます。

記

- ・道路特定財源の見直しに関する具体策が昨年12月に閣議決定されましたが、地方の実状を十分把握した上で道路特定財源の見直しを行い、国民の理解が得られる措置を望みます。
- ・道路特定財源は、受益者負担制度に則り道路整備に充当して頂きたい。
- ・渋滞解消のためのバイパス道路の促進
- ・高規格道路の早期完成
- ・狭隘箇所、急カーブ、落石危険個所の整備
- ・補助率の嵩上げ